

できてしまいます。その場合、確実に成績が低下していき、やがて補習や追試の常連になってしまう場合があります。こうなると日常の部活動に参加できなくなったり長期休みの際の課題量が増え、充実した学校生活が送れなくなってしまいます。

高校生の場合は、自学自習の基本はたいてい問題ありません。高校フロアでは3年生が必死に勉強している姿を下級生は日常的に見ていますので、学習意欲も高いのが通常です。

教員がハウスマスター

茗溪学園の専任教員はたいてい寮勤務を経験します。私も家族とともに5年間中学女子フロアのハウスマスターを勤めました。

最初の年の中学1年生に、家族がちょうどメキシコに転勤になり、生徒本人だけが茗溪学園の寮生として日本に残った女子生徒Aさんがいました。茗溪学園ではこのようなケースも“残留子弟”として海外生と類似の対応を行っています。安心して海外に赴任していただくという開校以来の構想です。さて、このAさん、一度も海外を体験していないにも関わらず、また英語はアルファベットから始めたにも関わらず、1年生最初の夏休みには一人でメキシコまで「帰省」しました。つくばセンターからは成田空港のターミナル直行のエアポートバスが出ていますので、空港までは便利です。それにしてもメキシコ直通便ではなく、アメリカのどこかで乗り換えての一人旅。度胸の据わった生徒で、その後も平然と行き来していました。まったく、こういうことに関しては断然男の子よりも女の子の方が度胸があります。その後もアメリカや上海など直通便で行き来する海外生は中学1年から女子でも結構いますが、英語がほとんどできないのにトランジットまでして行き来していたのはAさんくらいしか記憶にありません。

中学女子フロアでは問題があまり生じません。それは、高校2年生のアドバイザーの存在が大きいからです。アドバイザーには人格に優れた生徒が選ばれますので、下級生の信頼も抜群です。ときに教師以上の存在となり、3年生のフロア長のよき相談役です。ある年の私のフロアのアドバイザーの一人、Bさんもアメリカからの帰国生で、とても立派な生徒でした。

田代 淳一（たしろ じゅんいち）

茗溪学園中学校高等学校 教務部長・教員（化学）



茗溪学園では前向きで明るく逞しく積極的な青年が育っています。

「有名大学に行きたいから勉強する」のではなく、「中学・高校時代にいろいろな事に挑戦し、失敗し、考え、自分を探して、自分で自分の将来をみつけ、自分で歩いていく。その方向が地球を救い、人類の未来を拓く方向であってほしい。」そう考え、支援するのが茗溪学園の教員の役割です。

海外生・帰国生が自分の力で自分の未来を切り拓いてきた経験はここで開花します。

フロア内で不協和音が響き始めるとすぐ察知し、ポイントとなる生徒にさりげなくアドバイスし、解決してから私にさりげなく報告してくれる。寮祭でフロアの出し物のダンスの練習もうまく下級生を乗せて盛り上げ、大成功に収めてくれましたし、学習時間はものすごい集中力で勉強し、背中で下級生たちに語っていました。そんなBさんですが、「Bさんがアドバイザーだった期間、帰省するたびにものすごく母親に甘えたがり、夜はいつもお母さんと一緒に寝ていた」とのお話を、卒業式の時、お母さんから伺いました。



寮生同士が一生の友人に

寮でお互いの成長を見続け、性根の底まで知り尽くした関係から、一生の友達を得られる場合が多いようです。茗溪の生徒は卒業後、いっそう仲良く付き合っているケースが多いのですが、寮生の場合、本当に仲良くしていうらやましいくらいです。お互いの結婚式には、それがイタリアで行われようと年休をとって駆けつけたりしています。昨年の星出宇宙飛行士のシャトル打ち上げの際もたくさんの仲間が様々な形で駆けつけていました。親としては、大切な我が子を寮に預けるのは大変な勇気が必要です。通学生では経験しない、中には辛い経験も当然します。しかし、その先にあるもの、我が子が経験し身につけるものを価値あるものとして考えるかどうか、です。

☆

次号でも、私がハウスマスターとして寮生たちと生活していたときのエピソードの数々をお話します。

この5月、一冊の本が出版されました。柴谷晋著『出る杭を伸ばせ 教育実験校茗溪学園プロジェクト』（新潮社・1500円）です。創立当時の劇的なエピソードと、たくさんの寮生たちの姿が描かれています。ご一読ください。

茗溪学園中学校高等学校

〒305-8502 茨城県つくば市稲荷前 1-1

TEL : 029-851-6611(代) FAX : 029-851-5455

HP : www.meikei.ac.jp E-mail : entry@meikei.ac.jp



このコラムのテーマ「Study Skills」から離れて、との寮の紹介ですが、寮生活そのものが素晴らしい「Study Skills」のカリキュラムの一部になっていることがはっきりと分かる、学寮の紹介です。

先生個人の好意と自己犠牲に依存した他校の「寮監」ではなく、寮生の生活・学習指導の方法としての、先生と家族のハウスマスター制度は、うらやましいほどです。

今回の田代先生の体験談も楽しみです。忙しい中の寄稿に感謝！